令和7年度

病院事業 企画経営課の方針書

組織名	病院事業 企画経営課
所属長名	課長　柿崎　正行

1. 組織の使命（ありたい姿）

地域の人々に信頼される市立病院を目指し、両病院が協力し安心できる良質な医療の提供に努める。

2. 組織の抱える課題（現状）

・コロナ以降の患者数及び職員数の減、伸びない診療報酬により、厳しい医業収入となっており、収益増の対策が大きな課題になっている。
・全国的な燃料・光熱水費・消耗品の価格上昇や委託費用の増加及び人件費の高騰も重なり、コスト面で病院経営を大きく圧迫している。
・スタッフの人事交流について、医療機能の違いから患者層や給与・勤務形態（看護師は横手が3交代、大森が2交代など）等が違うことから、進展していない。両院共同での採用試験も事務職以外は進展していない。

3. 今年度の『スローガン』

病院事業として、地域医療の一翼を担い良質・安全な医療の提供に努めよう

4. 今年度の方針

・コンサルからの経営支援（委託契約）の実施するとともに総務省マネジメント事業を継続し、両病院の収益改善につながる医療体制を構築
・低コスト運営による健全な病院経営を目指し、共同見積（入札）やプロポーザルを用いた契約への改善
・事務部門スタッフ等の人事交流、事務事業の見直しなど企画経営課の体制の見直しと強化

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	総務省マネジメント事業の実施（継続事業）
	取組内容	・総務省マネジメント事業を年4回（各病院）実施し、入院収益等の増収を図る。 ・経費に関するベンチマークを行い、コストの見直しを図る。 ・公立病院経営強化プランの点検・評価の実施。
(2)	実現したい成果	共同見積（入札）やプロポーザルを用いた契約への改善
	取組内容	・共同購入で低コスト化が図れる消耗品や資材等の検討をし、可能なものから共同購入を目指す。 ・随意契約の見直しをし、プロポーザル用いた契約に移行し、コストの削減に努める。
(3)	実現したい成果	企画経営課の体制の見直しと強化
	取組内容	・企画経営課の体制の見直しを検討する。 ・事務部門の集約・交流を検討し、将来的には人事関連の事務について、一本化を目指す。 ・病院事業で事務職員を採用し、事務部門のプロパー化を図る

6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組状況

企画経営課会議を開催し、ふるさと納税の活用・滞納整理・職員採用・看護師等奨学生募集及び文書料金について協議した。職員募集については、今年度初めて病院事業として事務職員を募集し、病院事業として3人の採用を決定した。また、総務省マネジメント事業について、デロイトトーマツ社による経営状況分析及び各種委託料の内容等について情報交換した。共同購入については、燃料系の契約について引き続き実施するとともに、電力について新電力も含め、両病院で情報交換を行い、現電力会社の新プランに移行することとした。

7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

決算状況及び今年度の収支状況を勘案し、公立病院経営強化プランの見直しを行い3月議会への説明を行う。12月補正予算編成（決算見込によるもの・人件費・補助金の充当）。総務省マネジメント事業の継続。病院事業への繰り出し基準に基づいた算出について、市財政課との協議をすすめる。
企画経営課の体制の見直しと強化については、引き続き検討していく。

8. 総括（取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】）